

# 旧根ヶ布調理場解体工事

## 青梅市新学校給食センター整備事業

### 説明会議事録

日時：令和6年1月19日（金）午後7時～午後8時27分  
場所：根ヶ布自治会館

#### 1 開会のあいさつ

学校給食センター 榎戸所長

主な内容は以下のとおり

- ・学校教育に対するご理解とご協力、および解体工事に伴う事前の家屋調査への協力のお礼
- ・無償化に関する動向説明
- ・前回説明会での課題となった臭いとテレビの電波障害に関する説明

#### 2 関係者紹介

(市)

学校給食センター 榎戸所長、総務部施設課 山本課長、

施設課建築担当主査 平野、学校給食センター新共同調理場担当主査 中村

(業者)

(株)楠山設計 磯部氏・小曾戸氏、(株)海成 関氏・藤井氏

#### 3 解体工事の概要説明

→別紙「青梅市立学校給食センター根ヶ布調理場解体工事解体工事資料」  
について、(株)海成より説明。

#### 4 新学校給食センター概要説明

→別紙「青梅市新学校給食センター整備実施設計図」について、施設課平野主査より説明

## 5 質疑応答

\*太陽光発電について、センターで使用する電力の何%を賄えるのか。電気については自然エネルギーを何%使用するのか。

→30kwの太陽光発電を想定しておりますが、これにより全ての電力を賄うことはできません。一部のみとなるが割合については算出しておりません。なるべく自然エネルギーを取り込めるよう設計してまいります。  
(楠山)

\*いつ頃何%賄えるのか出るのか。

→お調べして回答させていただきます。(楠山)

→施設全体での電気使用量に対しては4~5%となります。なお、太陽光発電パネルは事務室等を対象として設置したもので、事務室等での電気使用量に対しては約50%を賄える計算となっています。  
(R6.1.26\_(株)楠山設計より回答)

\*廃棄物については段ボールのみとの説明があったが、給食残さの処理はどうするのか。

→給食残さにつきましては、2枚目1階図面の左側「残渣処理室」と表記されておりますが、各学校から残った給食と併せて残渣が食缶に入って戻ってきます。食缶洗浄機で中身を出し食缶を洗浄します。排出された残さについては、残渣処理室へ運ばれ、そこで破碎・脱水後業者による回収となります。同じ図面の右側「廃棄物庫1」および「廃棄物庫2」がございますが、「廃棄物庫1」には野菜の外葉や袋、ビニール袋を入れておく予定であり、「廃棄物庫2」については肉等が入ってきたビニール袋等を入れる予定であります。外の「廃棄物庫」は、納品されたダンボールを入れる予定であり、臭いの発生すると想定される廃棄物については建物内に保管する形となります。(市)

\*残渣は業者が処理するとのことだが、業者の方でどのような処理をするのか。

→現時点では未定であり、今後検討してまいります。(市)

\*できるだけリサイクルしてほしい。最後まできちんとリサイクルしないとせっかくの新しい事業なので。

→今、藤橋調理場が出たものについては、たい肥化してリサイクルしております。今後について検討してまいります。リサイクルについても検討してまいります。(市)

\*廃棄物については段ボールのみか。

→上記のとおりです。(市)

\*解体工事について、アスベストは建物のどこの部分にあるのか。全体の何%程度なのか。アスベストの量はどのくらい見込んでいて、解体時に飛散する可能性はあるのか。特定の場所は想定されているのか。どこの壁に含まれているのか調査済みなのか。

→アスベストの使用箇所については、厨房棟および車庫棟等全ての建物に使用されております。内装材についても厨房棟の一部に使用されております。撤去時期については、2月中旬より仮設足場を組みはじめ、足場が完了後撤去作業に取り掛かるため、3月中旬ごろから6月いっぱいまで撤去を行う予定でおります。(海成)

\*工程表の中で2月半ばから6月半ばでとなっているが、アスベストの処理はいつ頃を想定しているのか。

→上記のとおりです。(海成)

\*環境対策で聞きたいが、騒音の資料について騒音・振動の単位で80db、70db都の表記があるが、具体的にはどのくらいの震度や音なのか。

→騒音に関しては80dbというと幹線道路の大型車両が通行するような大きさであり、振動については震度1~2程度の地震のように感じる方もいらっしゃると思います。(海成)

\*騒音、振動について、基準がそうになっているが、解体時に想定されるものはどのくらいなのか。

→その範囲内で収まるよう解体工事を行う予定でおります。80db以内に抑える予定であり、音の発生源としましては幹線道路の通行時程度の音の大きさが発生すると思われれます。(海成)

\*資料に添付ないが、自治会からの要望というか住民意見を取りまとめて市に提出してあると思う。「こうしてほしい」という要望に対する市としての回答が一切資料にない。そこは示されないのか。

→要望の回答については示しておりません。申し訳ありません。(市)

\*解体や建築工事に関する要望のため、この説明会で回答をもらわないと、その説明会の場ではないのか。一方的に市がこのような工事をする、協

力してほしいではなく、その工事等に関する「少なくともこうしてほしい」「考慮してほしい」等の要望を挙げているはずだがそれに対しての回答が一切ない。この説明会の意味が不足している。要望に対しては別途説明会を考えているのか、工事の前に。工事の前に（要望に対する説明会を）やってもらわないと何の意味もない。そもそも要望に対して検討されたのか。意見だけ聞いてそれでおしまいなのか。

→要望についてはいただいております、現在要望に対して検討を進めております。（市）

\* 要望に対して検討した結果の回答が欲しい。こういう風に検討してこのように対処するという回答が欲しい。要望はたくさん出ている。皆さんも知らない。こういう要望が上がっているということも（住民間で）共有されていないため、市の方でこういう要望が一覧で出ておりそれに対して市では誠実に対応していくという、一つ一つの要望に対する回答・対処法を示してもらわないと。給食センターの工事についてはそもそもだれも反対はしていないと思う、当初から。駄目だという人はいないと思う。ただ我々が生活するうえで最低限これくらいは配慮してほしいというその要望であるため、その回答がないとちょっと説明会の意味がない、そもそも。

→ご指摘のとおり、本日（要望に対する）資料が準備できていない点につきましてはお詫び申し上げます。地元のご要望として市にいただいている点が多々あるかと思えます。今日参加されていない方については改めて資料の配布を検討させていただいておりますので、出来れば要望の内容をもう一度整理させていただいて、改めて要望に対する回答を文書にして配布という形を取らせていただければと思います。（市）

\* 配布では「市としてこういう風に考えたので従え」という様な、上から下に下ろされるもののような気がしてならない。だからこのような場で「この件についてはこのように対処する」それに対して我々が「それでは不十分である」等のやり取りが配布では全くできない。要望の数は一つ二つではない。皆さんもいろいろ要望を出されている。全ての要望に対してやはり誠実に回答してもらおうのが筋ではないか。

→新しい建物の中では、例えば青梅ゴルフクラブへ向かっていく道路については、結構な勢いで車が下りてくることもあるので給食の配送車は通らないようにしてほしい等の要望を受けたり、また臭い対策であ

ったり、早朝の騒音対策等のお話は重々理解しております。解体工事に向けての要望が、もちろん安全面に配慮することや作業時間に関することもあったと記憶しておりますが、今日は一つ一つどのような要望があったかお答えできません。(市)

\*たくさん要望があったので全部思い出して回答するのは難しいと思うが、我々の要望はその程度の対応なのかと思うと、がっかりする。今後解体工事やあるいは建設工事が始まる中で、市としてはこういう文書で誠心誠意対処しますと書いてあるが、誠心誠意がその程度なのかと思うとこの先思いやられるというか、不信感を抱いてしまう。資料も手元に我々の要望の一覧もないのにあれこれ言っても仕方ないので、何らかの形で後から配るのではなくもう少し対話できるような形で工夫を考えてほしい。

→今ご意見をいただいた通り一方的な文書配布で終わることなく、どういった形で今ご要望いただいたことに答えられるか検討させていただきたいと思います。配るだけではなく、もう一つ他の手段ということでも考えさせていただきたいと思います。お時間をいただきたいと思います。申し訳ありません。(市)

\*工事中の交通整理が道路に出るという説明がさっきあった。給食センターの南側に住んでいる者はゴルフ場の道路を通過して大通りに出ることが多い。給食センターの西側の天寧寺坂通りがあり車が下ってくる。スピードを出して下ってくる。給食センターの北の角当たりが死角になっている。慣れない工事車両等怖い思いをするので気を付けてほしい。下ってくる車はスピードを出してくるので工事をしている間に危ないことのないよう交通整理をしていただきたい。

→ありがとうございます。今のお話非常に大事なことだと思います。工事を進める中で、解体工事だけでなく建設工事もあるので、ご意見ありがとうございます。(市)

\*カーブミラー、パトライトは回転式か。

→回転式です。(楠山)

\*今話があったように、上(天寧寺坂通り)からくると死角になる、位置によって。意味がない。上から来ても死角にならないような対策を取っておかないと、ライトがついているから大丈夫ではなく、上からスピー

ド出して（車が）来ると、出てくる車両とぶつかってしまう。相当なスピードで来る。

→ありがとうございます。貴重な意見を本当に参考になります。（市）

\*解体工事の配置図及び仮設計画図で、さっきも話が出たが音や振動の話で、騒音振動計が1か所と書いてあるが1か所だけか。

→1か所だけです。（海成）

\*図面下（南側）の方に民家がある。そちらに（解体する厨房棟が）すごい近い。なぜそちらに近いところに設置しないのか。

→南側に設置できるかどうか検討する。（海成）

\*建物から一番近いところは2m程度しかない。厨房棟が一番民家に近い。境界線で70dbや80dbとなると（民家までの）距離が全然違う。厨房棟で解体に入った時に近くなる。境界の一番近いところで測らないと意味がないのではないか。

→電気が伸ばせるかどうかも含め検討します。（海成）

→南側道路面にも騒音振動計を設置します。工事実施に当たっては、極力騒音振動が発生しないよう努めて参ります。（R6.1.26\_（株）海成より回答）

\*テレビの電波障害について、工事が途中でも電波障害が出るのか、建物が完成したら電波障害は解消されるのか、緑のエリアの先にも根ヶ布1丁目の家が何件かあるがその先は影響がないのか。

→テレビの電波障害については、建てている最中から電波障害が始まり、建て終わってからも引き続いて電波障害になってしまうので、電波障害が発生する前には対策をしたいと考えております。この図面に書いてある根ヶ布1丁目のさらに先のところに（電波障害が）発生がするかどうかについては、机上の計算と実際に電波を測る車を置いて測っての調査をしており、ここから先には電波障害の発生することは想定しておりません。（市）

\*今回の質疑応答について、議事録についてまとめていただけるのか。

→議事録の件ですが、議事録、今回のこのやり取りについてもまとめて皆様にお示しできるような形にいたしますので、少しお時間をいただきたいと思います。（市）

\*工事が始まると思うが、何かあったときの問合せ先は施設課でいいのか。

→施設課で大丈夫です。(市)

\*土壌汚染とあるが、これの原因とこれはP F A Sというものではないのか。

→土壌汚染の原因ですが、地歴調査といってこの土地が昔どのように使われていたか調査を一回かけており、その時の調査の中では今の給食センターが建つ前に色々な工場がこの辺りにあったということでした。その工場の中で多分鉛を使用した塗料を使っていたのではないかとのお話を受け、実際に掘ってみて土の成分を調査した結果、やはり鉛の成分が基準値を超えていたため、それを今回除去を行うこととなります。(市)

\*本来それは今の建物建てる前にわからなかったのか。普通は建てる前に調査して汚染があったらそれを除去してから建てると思うが、壊すときに当たって前からあったとの説明なのでちぐはぐになっている。

→今の給食センターを建てる前に処理ができなかったのかということですが、土壌汚染の調査を行うに当たっては土壌汚染対策法と東京都の環境確保条例にもとづいて実施しております。今の学校給食センターを建設する時にわかっていなかったのかというお話ですが、その時(今の学校給食センターを建設する時)にはその法律はございませんでした。建設するときに土壌汚染があるかどうかを調べなくてはならない法律がなかったため、(土壌汚染調査を)実施していなかったのが事実です。当時は畑等を行う時に、作物を作るため調査しなくてはならないというような法律であったと思いますが、建物を建てることに対しての土壌汚染調査というのは、そもそも法律がなかったということで調査を実施していません。今回実施したものについては、平成15、16年頃に土壌汚染対策法の中に基準ができ、それにもとづいて調査を実施しています。(市)

\*調査して分かったのは最近か。

→令和3年度に実施しております。(市)

\*今、井戸水を汲んで何かしているという家は周りにはほとんどないと思うが、見つかった時点で近隣に「土壌汚染が見つかりました、井戸をくみ上げていれば止めてください」等のお達しはなかったのか。

→当時説明会を実施させていただいており、地下水に影響がない旨も説明させていただいております。(市)

\*アスベストについてだが、南側の外壁は住居に面しているところであるが、近隣住民に実は給食センターはアスベストを使用していた、近隣住民の方飛散しないので大丈夫です等の全然そういうアナウンスがないが、外壁なので外に面しておりそのまま放置されている、何もせず。これは対応としてどうなのか。

→アスベストは色々な形状で存在しております。一時、すごくアスベストの健康被害が騒がれた時のアスベストというのは、本当に綿状に吹き付けられ、風が吹くとふわふわ飛んでしまうものがあり、それを吸い込んで健康被害があったというのが、社会的に問題があった案件でした。アスベストには段階が色々あり、危険のレベルがふわふわ飛ぶのがレベル<sup>ワン</sup>1といわれている危険なアスベストであり、その次に危険なアスベストというのがレベル<sup>ツー</sup>2という段階のものがあり、保温材といって配管を保温するような材料に含まれているものがあります。さらにもう一つ危険性が下がったものがレベル<sup>スリー</sup>3で、建材に練り込まれたものであります。例えば（建具の）ボードの中には、アスベストを丈夫さを出すために、ボードに練り込んで作っているものがあります。それは普通に置いてある分には飛散する恐れがないので危険性が低いレベル3という括りになっております。今回給食センターでアスベストが入っていると説明させていただいたものは、レベル3しかございません。レベル3に該当するものは普段何もしなければ飛散することがないため、特にお知らせをしなかったということです。実はこのレベル3の建材は色々なところに使われております。学校の昔のトイレの天井にも耐水性が求められる天井があるとそこにアスベストが入っている天井ボードが使われていることがあります。ただ、そのまま使っている分には飛散することがないので、そのまま使用している現状でございます。繰り返しになりますが、今給食センターで使用されているアスベストについては、レベル3といわれる建材にアスベストが練り込まれているもので、今回それを除去しようということになります。今回、壊すにあたっては壊し方を間違えると、割れたところから練り込まれたアスベストが飛散してしまうため、アスベストの除去については細心の注意を払って撤去をしようということで説明をさせていただいた次第です。（市）

\*一番心配なのは外壁材、ボード？を途中で割ったり粉々にしたり、そういった解体をするのか、あるいはボードをある程度まとまった形で撤去する



のか。

→基本的には大きいまま手で外してそのまま飛散しないように養生いたします。撤去する際も飛散防止剤を散布しながら、粉塵を上げないように撤去いたします。(海成)

\*工事の時が一番大変。なるべく外に出さないように上手に工事してもらいたい。給食センターに反対しているわけではない。心配である。

→私共(市)も現場に赴いて壊し方を間違えていないか十分監督してまいります。ご心配をおかけし申し訳ありませんが細心の注意を払って、私共(市)も監督に当たらせていただきます。(市)

## 6 閉会のあいさつ

根ヶ布自治会 中嶋自治会長 様

\*給食センターの整備事業説明会を開催していただきありがとうございます。

工事内容のことについて色々わかることも多くあったかなと思う。ただ、私が色々話を聞いていて思ったことが、どうも騒音と振動が気になって仕方がない。基準値がこれだけだからそこまでは平気だろうではなく、震度1とか2でも結構揺れるなという気がしたのでそれは抑えていただければと思う。ここに参加した方もそうだし、根ヶ布に住んでいる方々も青梅市がやることだから大丈夫だろうというふうに信頼しているというところもあるので、その信頼をぜひ裏切らないようにして工事等を進めていただければと思う。子どもたちがおいしい給食をこれから食べられるようになればいいなと思っている。これからも工事を進める中で、色々意見交換ができればいいなと思っているので、引き続きこういう場の設定をしていただければと思うので、よろしく申し上げます。